

重点施策 12 文化振興事業の充実

【施策方針】

優れた文化芸術事業や郷土の先駆者を顕彰する企画展、歴史探検学習等を実施し、市民が文化活動・郷土史学習に参加し体験できる場を提供することにより、郷土愛を育むとともに、文化活動の支援と地域文化を支える人材の育成に主眼を置き、幅広い分野での芸術、文化活動の市民への普及、啓発を実施する。

【実施状況】

(1) 主な施策・事業

■文化芸術事業の振興

- ① 八幡浜市美術展の開催
- ② 県展八幡浜移動展の開催
- ③ 八幡浜市美術館特別展の開催

■文化会館事業

- ① 文化会館管理・運営
- ② 自主文化事業の開催
- ③ 企画プロデュース事業への助成（申請なし）
- ④ カルチャー教室・ロビー展の開催

■市民文化活動センター事業

- ① 市民文化活動センター管理・運営
- ② 自主文化事業の開催
- ③ 企画プロデュース事業への助成

(2) 施策・事業の実施状況

■文化・芸術事業の振興

① 八幡浜市美術展の開催

市民より作品を募集し、絵画（洋画、日本画）、書道、写真、工芸等の各分野から 187 点の応募があった。特に優秀な作品については市展優賞、市長賞、議長賞、教育長賞、文化協会長賞、推奨、高校生奨励賞等の表彰を行い、作品制作の励みとなるようにした。

観覧料は無料。観覧者 1,383 人（八幡浜市美術展委託料）400 千円

② 県展八幡浜移動展の開催

県展出品者の中から、八幡浜市出身者の作品を中心にして、八幡浜市美術展と同じく、絵画（洋画、日本画）、書道、写真等の作品 101 点を展示した。

観覧料は無料。観覧者 909 人（県展八幡浜移動展委託料）250 千円

③-1 生誕 110 年 佐藤太清展 「水の心象」の開催

八幡浜市美術館の令和 5 年度特別展として、京都府福知山市にある佐藤太清記念美術館より作品を借用し、全国 3 会場（板橋区立美術館（東京都）、八幡浜市美術館、佐藤太清記念美術館（京都府））を巡る展覧会を開催した。会期中にはワークショップや講演会を開催し、市民のみなさんに広く芸術に親しんでいただける場を設けた。

会期令和 5 年 7 月 1 日（土）～ 8 月 20 日（日）44 日間

観覧者 1,320 人（有料 999 人、無料 144 人〔※うち高校生以下 80 名〕）

（美術展負担金ほか）5,574 千円

③-2 第 2 回八幡浜市美術館共催展「青春の心の残像を追って……門田俊彦展」の開催

八幡浜市美術館では郷土を代表する作家を紹介する場として、八幡浜市美術館共催展を開催、第 2 回として「青春の心の残像を追って……門田俊彦展」を開催した。八幡浜市のみならず愛媛県の洋画の普及や後進の指導に尽力された氏の 78 点の作品を展示し、たくさんの市民のみなさんに来場いただき、郷土の画家の顕彰につなげた。

会期令和 6 年 2 月 23 日（土）～ 3 月 10 日（日）15 日間

観覧者 711 人

■文化会館事業

① 文化会館管理・運営

市民の日常の学習や文化活動の場として自己を高め、芸術文化の向上と地域文化を育むとともに、生涯学習の拠点として貸館業務、カルチャー教室、ロビー展などを実施した。

② 自主文化事業の開催

ゆめみかん開館 25 周年記念公演として「横山幸雄リサイタル in 八幡浜」、「葉加瀬太郎スペシャルコンサート with 柏木広樹、西村由紀江」、「吉本新喜劇&バラエティ in やわたはま」の 3 事業を実施した。また、新たな Jazz 公演の取り組みとして「Yawatahama みかん Jazz2024」を計画し実施した。

③ 企画プロデュース事業への助成

市民が企画・立案し自主運営する文化事業（映画会・講演会・コンサート等）の募集をしたが、申請がなかった。

④ カルチャー教室・ロビー展の開催

カルチャー教室については、地域文化の創造に貢献できる人材を育成するために公民館の学習講座との調整を図り「夢づくり・夢学び」をキャッチフレーズに、俳句・絵画・料理の 3 講座を計画した。料理教室は、受講希望者が少数であったため中止とした。俳句教室と絵画教室はそれぞれ計画どおり年間 10 回開講した。

また、ロビーを作品発表の場として開放し、「ミニ美術館」として活用した。市民の方々の優れた作品を展示し鑑賞していただいている。

■市民文化活動センター事業

① 市民文化活動センター管理・運営

施設利用者が増加するなか、練習の場・発表の場として活動しやすい環境を整え、市民の自主的な文化・芸術活動並びにボランティア活動等の支援につなげた。

② 自主文化事業の開催

定期的で開催している映画上映会では、市民のリクエスト作品を中心に上映を行い、さらに国立映画アーカイブの優秀映画鑑賞推進事業に参加することで、新旧、邦画・洋画、様々なジャンルの作品を上映することができた。南予地域に映画館がない現在、近隣自治体からも来場があり、市内外に映像文化に親しむ機会を提供するとともに、交流人口の獲得にも寄与している。

また、市民にとって身近な存在である当市にゆかりのあるアーティストを迎えた「オペラ公演『魔法の笛』」、「第3回てやてや寄席 柳家花緑・柳家勸之助親子会」、「トリオ・リベルタコンサート in 八幡浜」、「TRIO CLEMENTINE Valentine Concert ～愛を奏でて～」を開催し、優れた芸術文化を「鑑賞」する機会を提供するとともに、市内で活動するアマチュアバンドの出演するライブイベント「Comican の中心で愛を唄う～コミカン施設利用者による忠八ホールライブ～」を開催し、普段コミカンで練習に励むバンドの「発表」の場を提供することができた。

③ 企画プロデュース事業への助成

文化会館で実施している上記事業の対象施設に市民文化活動センターを加え、市民が企画・立案し自主運営する文化事業（映画会・講演会・コンサート等）の募集を行い、雅組太鼓公演実行委員会より申請があり、「満福 TAIKO LIVE」に助成を行った。

【事務事業点検評価委員意見】

○ 文化・芸術事業の振興については、八幡浜市美術館が「市民のアートへの入口」として定着し、芸術・文化活動の面で大きな役割を果たしている。八幡浜市美術展では、市民より作品を募集し、絵画、書道、写真、工芸等の分野から187点もの参加があった。どの作品も制作者の思いが伝わってくるレベルの高い作品ばかりであった。この美術展では、「高校生奨励賞」を設けており、若い才能を伸ばす上で、大変意義がある。観覧者が1,383人もあり、コロナが終息したことも一因ではあるが、市美術展が市民に親しまれていることが分かる。

県展移動展においても、八幡浜市出身者の作品を中心に101点が展示されており、市民が芸術に触れることのできる環境があることは、大切なことだと思う。

「生誕110年 佐藤太清展－水の心象－」は、非常に美しい絵画の展示と共に、ワークショップや講演会を開催して、市民が芸術に親しめる機会となった。観覧者が1,320人もあり、その中で高校生以下無料という配慮が、芸術に触れる機会を広げていったと思われる。

第2回八幡浜市美術館共催展「青春の心の残像を追って……門田俊彦展」は、洋画の普及のために尽力され、多くの教え子がいる門田俊彦さんの集大成となる展覧会であった。観覧

者も多く711人であった。

- 文化会館事業においては、ゆめみかん開館25周年記念公演として「横山幸雄リサイタル in 八幡浜」、「葉加瀬太郎スペシャルコンサート with 柏木広樹、西村由紀江」「吉本新喜劇 & バラエティ in やわたはま」の3事業を実施している。中央で活躍されている方々を招き、幅広いジャンルのコンサートやバラエティが実施できたことは、市民にとって大きな喜びであると思う。また、「Yawatahama みかん jazz2024」も好評で、県内外から多くの参加者があった。新鮮な企画が、地域の人々の心を豊かにしてくれている。今後も、心に残る企画をお願いしたい。

企画プロデュース事業への助成については、申請がなく、来年度は、申請があることを願っている。

カルチャー教室・ロビー展については、年間を通して活動できたことは、素晴らしいと思う。カルチャー教室では、俳句・絵画教室を年10回開催し、「夢づくり・夢学び」に近づけたものと思われる。作品を「ミニ美術館」として公開し、好評を得ているが、市民に対しての広報活動に、さらに力を入れると一層盛り上がると思われる。

- 市民文化活動センター事業については、利用しやすい環境を整え、市民の文化・芸術活動にやる気と生きがいをもたらし、市民全体に活気と明るい展望を与える場となっている。大型ディスプレイやオンライン配信・会議用機能を充実させ、より利用しやすい環境を整えたことは、活動を推進する大きな力になると思う。

映画上映会では、南予地区に映画館がないため、近隣自治体からも来場があり、リピーターが増えている。また、当市にゆかりのあるアーティストを迎えた公演も好評で、「オペラ公演『魔法の笛』」、「第3回てやてや寄席 柳谷花緑・柳谷勸之助親子会」、「トリオ・リベルタコンサート in 八幡浜」、「TRIO CLEMENTINE Valentine Concert～愛を奏でて～」の演奏に市民が感動していた。また、市内で活動するアマチュアバンドの発表の場を提供するなど、文化活動を応援していることは、素晴らしいと思う。

- 市民が企画・立案し自主運営する事業については、雅組太鼓公演実行委員会より申請があり、「満福 TAIKO LIVE」に助成を行った。地元で活動している雅組の活動を継続し、一層充実したものにするために必要な支援である。

【自己評価】

- 八幡浜市美術館は、美術館として高い機能を備えながらも、市民のみなさまが気軽に利用しやすいつくりになっている。「生誕110年 佐藤太清展—水の心象—」では、自然から感受したイメージを独自に解釈し、詩情豊かな世界観を創出、花鳥風景画を確立した佐藤太清の作品を紹介し、多くの方に来場いただいた。第2回八幡浜市美術館共催展「青春の心の残像を追って……門田俊彦展」では八幡浜市だけでなく愛媛県で洋画の普及に尽力している門田俊彦氏を紹介し、市内外からたくさんの方に見ていただけた。今後も郷土の作家を顕彰す

る企画展を開催したい。

- 文化会館自主事業に関して、新型コロナウイルス感染症法上の分類が5類に移行したことにより、入場制限を撤廃してゆめみかん開館25周年記念公演3事業と新規事業のジャズ公演1事業、計4事業を滞りなく開催することができた。

新規事業のジャズ公演については、地元高校吹奏楽部へも出演を依頼し、プロからの演奏指導の場も設けるなど大変喜んでいただけた。

今後も市民の方に喜んでいただける事業を企画したい。

- カルチャー教室は、地域文化の創造に貢献できる人材を育成するために「夢づくり・夢学び」をキャッチフレーズに取り組んでいるが、受講希望者少数の1講座が中止となった。受講希望者数の伸び悩みや来年度の会館休館も考慮し、今後は公民館講座との調整など内容の見直しを検討したい。
- 市民文化活動センターの貸館需要が高まる中、今後も様々な文化・芸術・ボランティア活動の拠点の場として、より親しみがあり利用しやすい施設になるよう、引き続き、必要な環境整備および情報発信に努めたい。今後も映画上映会並びに自主運営事業についてもより充実した内容になるよう継続していきたい。また、次世代の人材育成に繋がる企画も交えながら、施設特性を活かしたイベントを開催していきたい。